

小学生に読みきかせ

一詩とことば遊びの本一

小学生に絵本の読み聞かせを行ってみたいという方を対象にしたリストです。おおむね対象年齢の低い順にならべています。図書に関する記載事項は、書名・編著者名・画家名・訳者名・出版社・大きさ・ページ数・ISBN・通して読むのにかかる時間の目安の順に なっています。

一えほん一

ぶたためききつねねこ 馬場のぼる著・絵 こぐま社 19cm 40p 978-4-7721-0060-1 2分

「おひさま」が「まど」を照らすと「どあ」から「あほうどり」が出てきます。全部で41のしりとりが、楽しいストーリーとなってテンポよく進んでいきます。『11 ぴきのねこ』の馬場のぼるが描くユーモラスな絵が子どもたちの笑いを誘います。

もこ もこもこ 谷川俊太郎著 元永定正絵 文研出版 29cm 29p 978-4-580-81140-2 2分

ページをめくるたびに、「しーん／もこ／もこもこ、によき」などの単純なことばと、その音からイメージされる絵が出てくる絵本です。ことばのリズムがよく、絵もはっきりしていて見やすいので、幼児にもわかりやすいです。

これはのみのぴこ 谷川俊太郎著 和田 誠絵 サンリード 29cm 32p 978-4-914985-01-2 7分

ページをめくるごとに、「これはのみのぴこ これはのみのぴこのすんでいるねこのごえもんこれは……」と、テンポの良い文が積み重なります。明るい色のくっきりした絵とともに、どんどん世界が広がっていきます。

じゅげむ （落語絵本4） 川端 誠著・絵 クレヨンハウス 31cm 24p 978-4-906379-80-4 7分

よく知られた古典落語を絵本に仕立てたシリーズの一冊です。子どもに良い名前をと、和尚さんに聞いためでたい言葉を全部つけて、難儀をする話です。「じゅげむじゅげむ」で始まるくり返しを、よく練習して読みましょう。

ベーコンわすれちゃだめよ！ パット・ハッチンス著・絵 わたなべ しげお訳 偕成社

21×26cm 32p 978-4-03-328190-8 3分

「うみたてたまごが6こと……」と、たのまれたお買い物を忘れないよう繰り返しているうちに、どんどんおかしい具合になっていく様子が伝言ゲームのようで笑いを誘います。登場人物の表情の変化も楽しめます。

ここんぷいぷい 一創作ことばあそび絵本一 織田道代著 木葉井悦子絵 福音館書店

26cm 28p 978-4-8340-1436-5

呪文、まぜかえし言葉、位置決めことばなど、15種類の言葉遊びを紹介した絵本です。「どれにしようかな、てんのかみさまのいうとおり」など、よく知られているものから、ゲームのように楽しめるものまで、言葉の世界を遊べます。

まどさんとさかたさんのことばあそび まど みちお著 阪田寛夫著 かみや しん絵
小峰書店 25cm 54p 978-4-338-06019-6
まどみちお、阪田寛夫の詩が交互に見開き1ページで紹介されています。語呂やリズムがよく、ユーモアのあることばあそびうたです。子どもたちと一緒に、声に出して読んでみても楽しいです。

みんなであそぶわらべうた 近藤信子編・遊び方指導 梶山俊夫絵 福音館書店
25cm 39p 978-4-8340-1402-0
長く歌い継がれ、暮らしの中に息づいてきたわらべうたを、遊び方・楽譜とともに11編紹介しています。力強い描線の素朴な挿絵が歌詞に味わいを添えます。誰でも自然に口ずさめるわらべうたを子どもたちと楽しみましょう。

—詩集 など—

お江戸はやくちことば 杉山 亮著 藤枝リュウジ絵 河合楽器製作所出版事業部
22cm 32p 978-4-7609-4560-3
「生麦生米生卵」など江戸の昔から伝わる早口ことばと、ひねりを加えた新作早口ことばを、遠目のきくくっきりとした挿絵を添えて紹介しています。大真面目な解説文も楽しく、導入として一部だけ用いることもできます。

かさぶたってどんなぶた 小池昌代編 スズキ コージ絵 あかね書房 25cm 40p 978-4-251-09251-9
詩人小池昌代が現代詩の中からことば遊びの詩を18編選びました。今にも飛び出しそうな、動きのあるコラージュの絵が、ことばの世界を盛り上げます。巻末には編者から読者への「手紙」があり、各詩の味わいを伝えています。

ことばあそびうた 谷川俊太郎著 瀬川康男絵 福音館書店 23cm 36p 978-4-8340-0401-4
「いるかいるか／いないかいるか」のように、重ね言葉を駆使した詩15編に、渋い味わいのさし絵が趣を添えます。時おり昔風の言い回しも登場し、ユーモラスな響きを深めています。続編もあり、言葉遊びの入門に適した詩集です。

なぞなぞあそびうた 角野栄子著 スズキ コージ絵 のら書店 20cm 77p 978-4-931129-71-9
「あな みつつ ふたつに あしくぐり ひとつに おなかくぐり」リズムカルな言葉で綴られた楽しいなぞなぞあそびうたです。答えは子どもたちの身近なものばかりで、挿絵がヒントになっています。

のはらうた（1～5） 工藤直子著 童話屋 16cm 155p
1：978-4-924684-21-8 2：978-4-924684-28-7 3：978-4-924684-41-6
4：978-4-88747-013-2 5：978-4-88747-083-5

野原の子ネズミや風などのつぶやきを、代表人として著者が書きとめた詩集です。見開き1ページにひとつずつ詩がのっています。それぞれの生き物や自然の特徴をとらえた詩からは、ほのぼのとした雰囲気が伝わってきます。

大阪ことばあそびうた 島田陽子著 編集工房ノア 22cm 79p 978-4-89271-007-0
大阪弁で書かれた詩が30編入っています。声に出して読むと、普段何気なく口にしている言葉の、まろやかさや響きのおもしろさに気がきます。最近あまり使われない言葉の意味は、注に書かれています。続編も出ています。

てんぷらぴりぴり まど みちお著 大日本図書 22cm 57p 978-4-477-02095-2

「ぞうさん」などの童謡で知られる、まどみちおの詩集。石ころ、夕方、スイカのたねなど身近な素材を扱ったものが多く、子どもにも親しみやすいです。軽快な音やにこい、情景がじかに伝わってくるような詩です。

まさかさかさま動物回文集 石津ちひろ著 長 新太絵 河出書房新社

19cm 61p 978-4-309-26981-8

「らつかんしたぶたしんかつら」は「樂觀したブタ、新かつら」。動物を読み込んだ回文が、次々と繰り出されます。意外な言葉の組み合わせから姿を想像すると、くすつと笑えます。自分でも回文が作ってみたいくなります。

わたしと小鳥とすずと -金子みすゞ童謡集- 金子みすゞ著 JULA 出版局

18cm 160p 978-4-577-61025-1

大正時代の詩人・金子みすゞの童謡を60編収めています。「みんなちがって、みんないい」で終わる表題作など、やさしい言葉で書かれた詩は、透き通った感性と子どもの視点を感じさせます。続編『明るいうへ』とともに、絵本を読む前や合間に読んで楽しみましょう。

おーいぼんた -声で読む日本の詩歌166- 茨木のり子他編 柚木沙弥郎絵 福音館書店

24cm 192p 978-4-8340-3469-1

大岡信、岸田衿子ら5人の詩人が、万葉集から現代詩に至るまで日本の詩と俳句、短歌から幅広く166編を選んだ詩集です。なじみのある詩歌も数多くあり、改めて子どもたちと味わいたい作品がつまっています。

しゃべる詩 あそぶ詩 きこえる詩 はせ みつこ編 飯野和好絵 富山房

23cm 159p 978-4-5720-0466-6

北原白秋から工藤直子まで、たくさんの詩人がつくったさまざまな詩を、57編集めた本です。声に出して読み、遊んで、耳をすまして味わってみましょう。カラフルで大胆な挿絵のおもしろさも子ども達に喜ばれそうです。

よりぬきマザーグース 谷川俊太郎訳 鷲津名都江編 岩波書店 18cm 165,42p 978-4-0011-4068-2

「ロンドンばしがおっこちる」など、英語圏の伝承童謡「マザーグース」から広く知られる50編を集めた詩集です。それぞれの詩の原詩と解説が載っています。歴史的背景や遊び方などが紹介され、マザーグースをより深く楽しめます。

